



フェラ看病のお返しは  
連続種付けマージングでした





これだけ上手にできれば  
試作はもう十分じゃない？

毎週つくってる  
よね…

まだまだだよ！  
今度のソウちゃんの誕生日は  
最高に美味しいパンケーキを  
プレゼントするんだから！

「手作り料理が食べてみたい」  
と言ったら、まさか  
こんな大事になるとは…



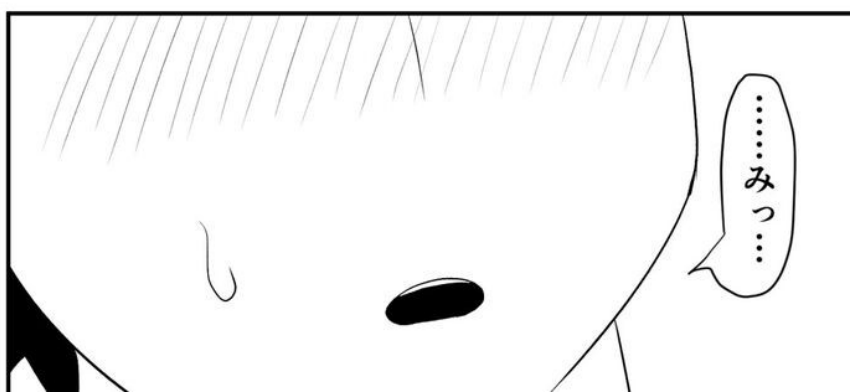
美咲は人に何かをしてあげることが  
好きなどにかく優しい良い子だ

ん  
イマイチ生地が  
ふんわりしない  
たよね…

粉かえ  
みよつかな…

ただ、頼まれると断れなかったり  
今回みたいに頑張りすぎてしまうのが  
たまにキズだけど…

あっ



——「もう一人」の幼馴染の  
悲報は飛び込んできた







——  
実はさ

え？

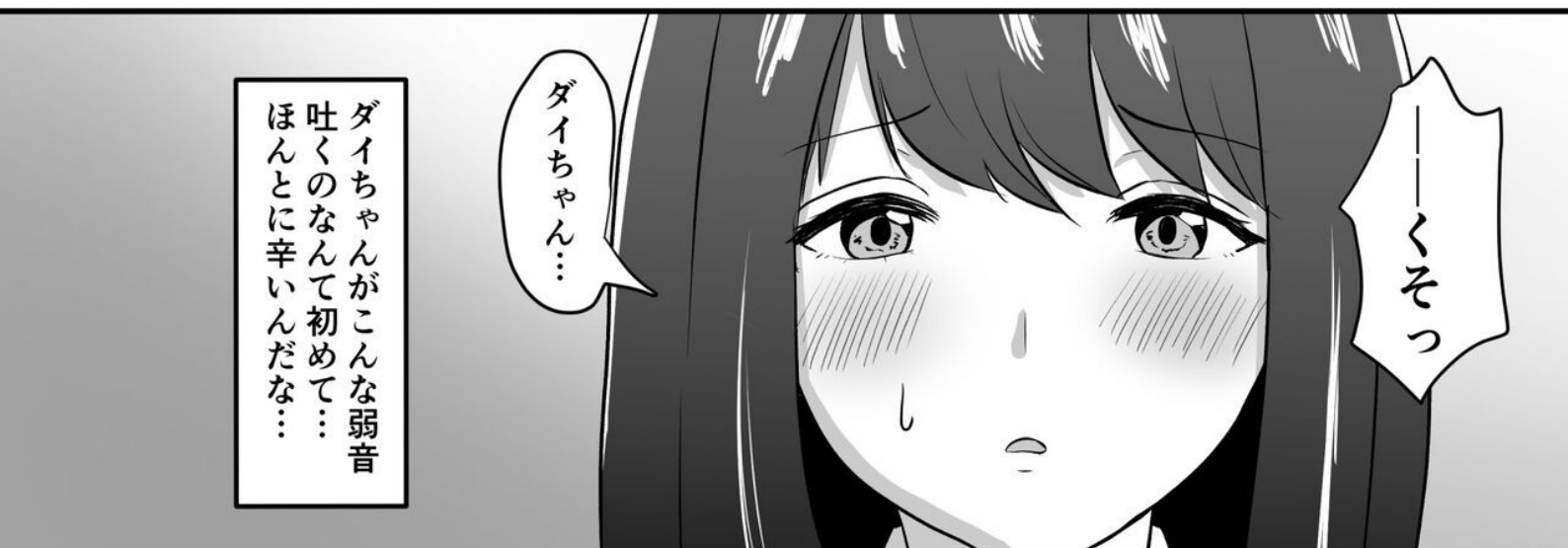
菜穂とはもう  
別れたんだ

悪い…

颯太のいる前だと  
なんだか言いづらくてさ…

事故にあうちょっと前に  
ささいなことでも  
ケンカしちゃって…

そんな…





辛いよねダイちゃん…

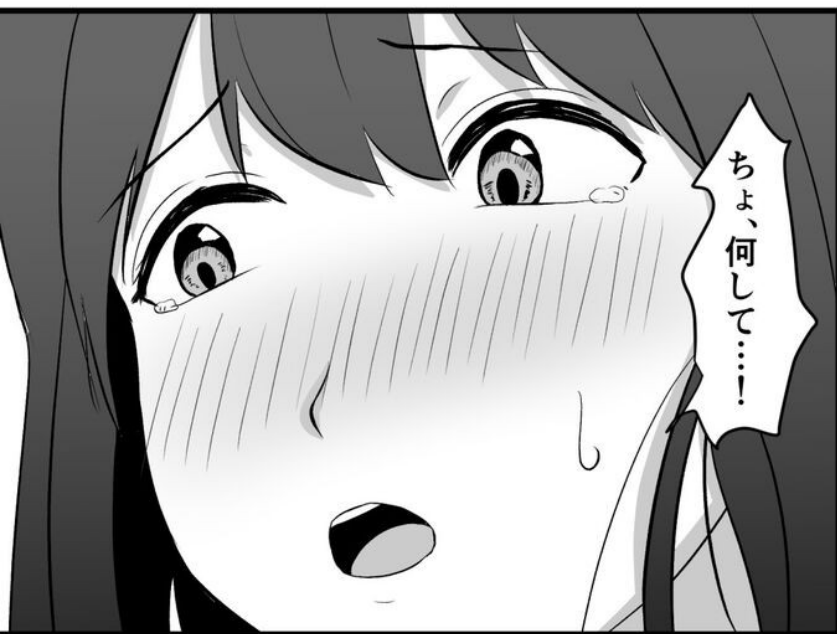
っる…

あたしにできること  
あったらなんでも言っ  
てね…



しんどいよお！

生きるのってこんなに  
辛いのかよお！



ちょ、何して…！



じゃあ…  
俺を癒してくれ

すっ…



美咲い…俺寂しいんだよ…  
人肌恋しいんだよ…

今日だけでいいから…  
せめて今日だけ慰めてくれないか？

そ、それはさすがにダメだよ…！  
あたしはソウちゃんと…







おちんちんってこんなに  
大きい人もいるんだ…

ソウちゃんの倍近くあるんじゃないか？  
運動部だからかな？



…って…  
なに比較してんのあたし！

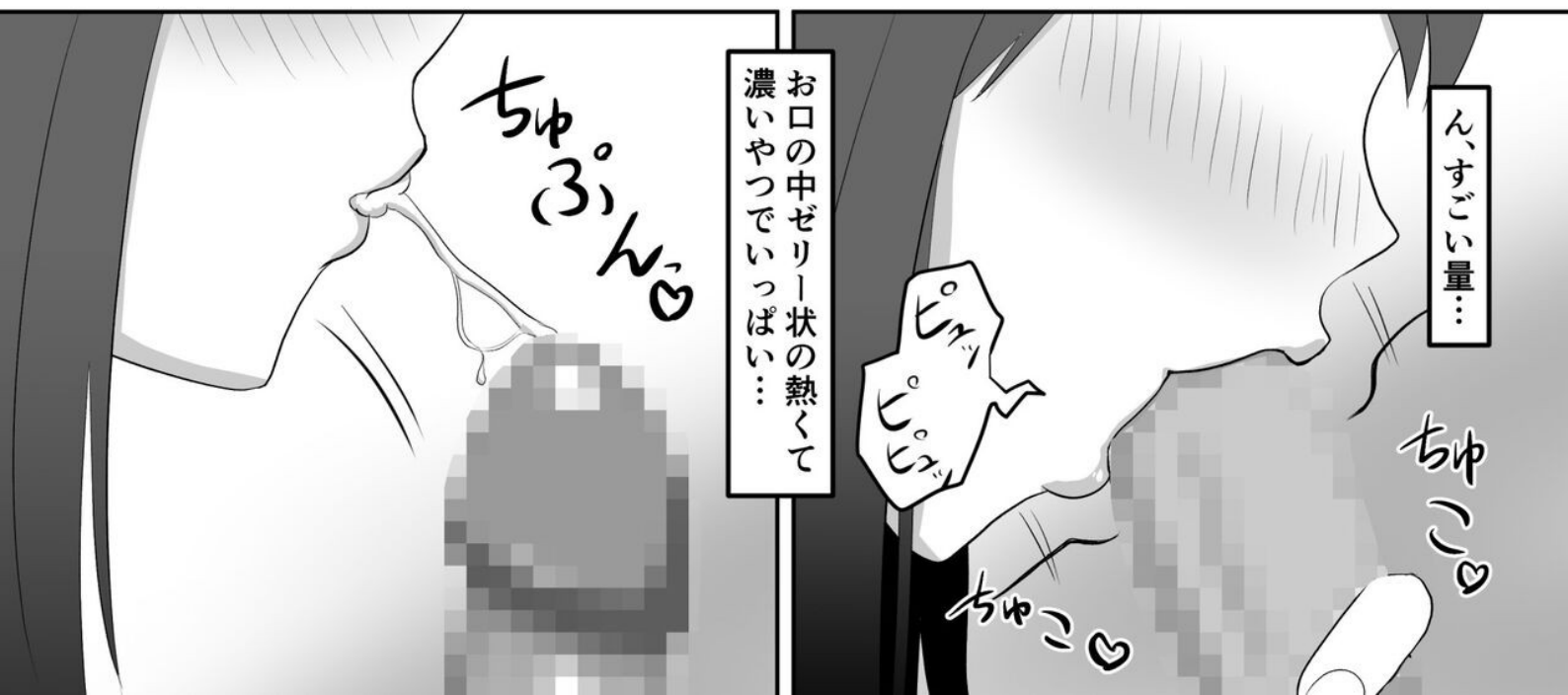


蒸れててすごい男臭い…



仕方ないけどきつと  
お風呂入れてないんだろ…









——部屋を訪れた時とは対照的に  
ダイちゃんはずごく  
満足そうな顔をしていた

これで少しでも気が晴れたなら  
よかったなと思いつつも  
私は味わったことのない  
背徳感に支配された

もう終わったことだから  
忘れてしまおう…  
そう思いながら家路についた

でも…  
これで終わり  
なんかじゃなかった



その後もお見舞いに行く度に  
結局うまく言いくるめられて  
「処理」をさせられた

ソウちゃんには引き続き  
菜穂さんのことで相談に  
乗っているということにしている

本気になれば  
断ったり逃げ出すことは  
できるはずなのに

ソウちゃんへの罪悪感を感じながらも  
あたしはなぜかこの秘密の関係を続けてしまっていた





でも…  
それだけなのかな…

ダイちゃんのことを心の底から  
かわいそうだと…  
幼馴染として慰めてあげたいと  
思ったことは事実だ



最近元気ないぞ…？

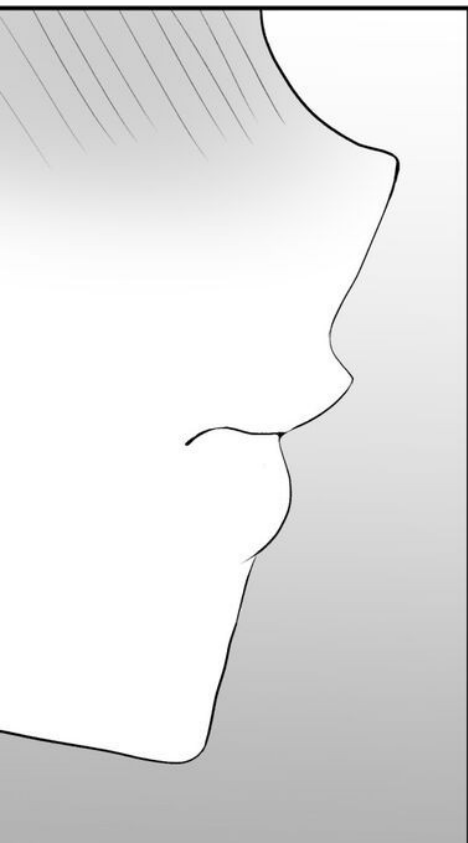
もし困ってることあるなら  
なんでも言いなよ？



美咲？

それだけが理由で  
私は彼氏を差し置いてあんな  
イケナイことをしているのかな

え？



わしゃ…

美咲のためなら僕  
なんでもするからさ

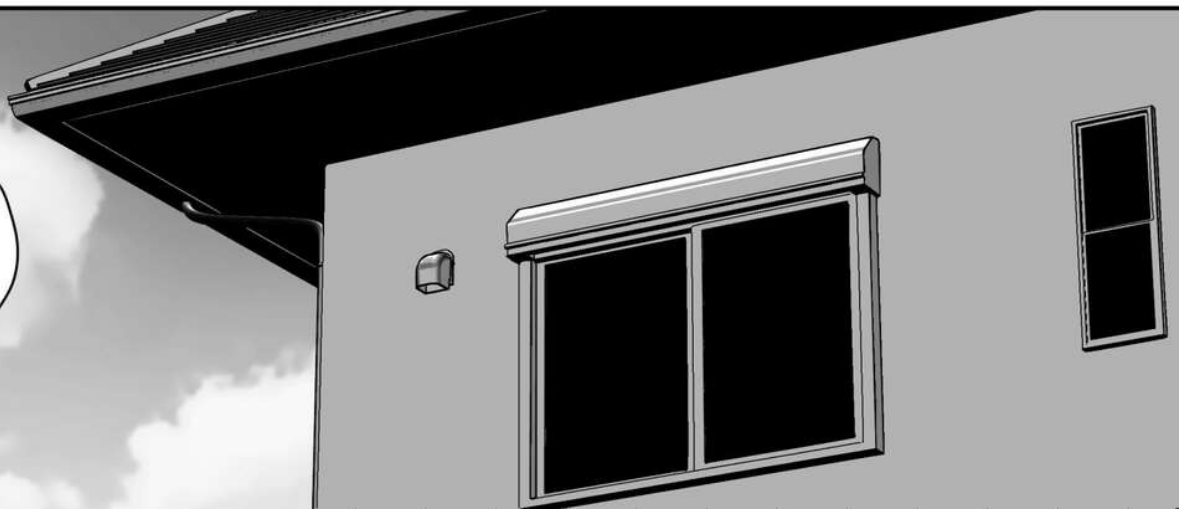


ありがとう…  
大丈夫だよ

やっぱりだめだ…

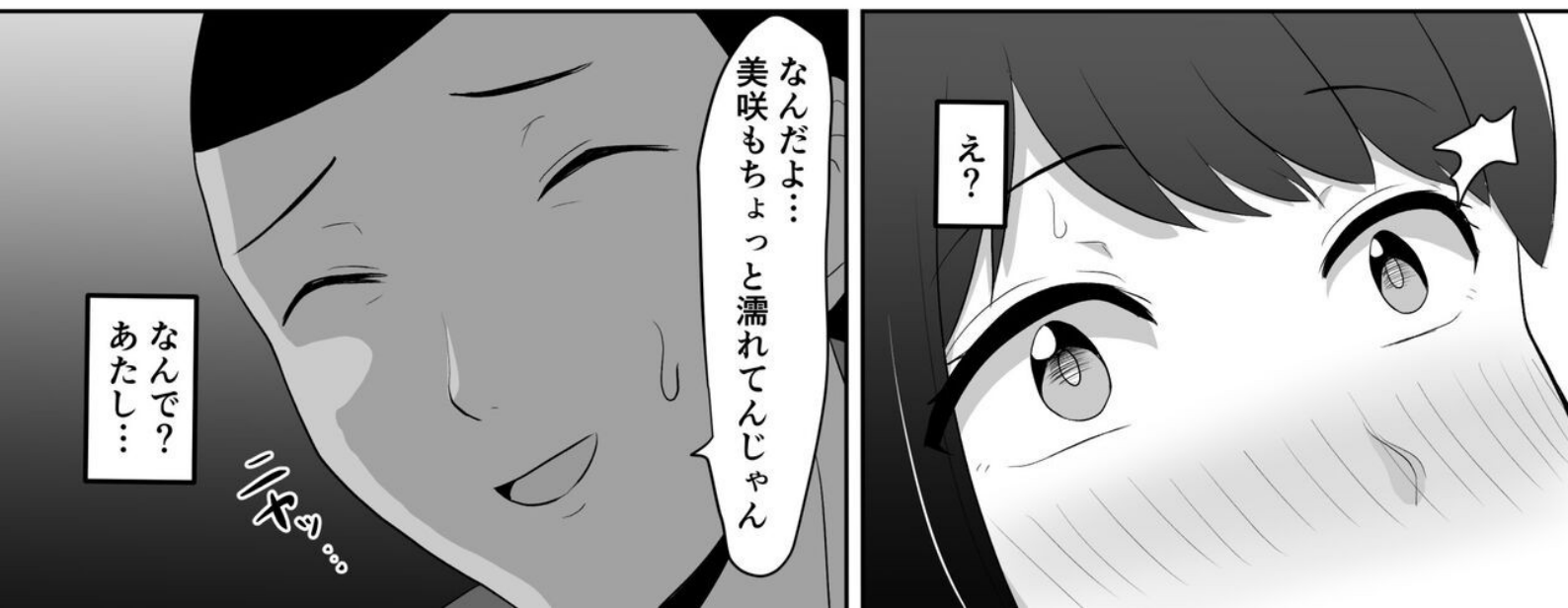
もう終わりにしないと

え？











とにかく流されちゃダメだ！

あたしは……



中也トトロだ……

あ、だ、ダイちゃんやめて！

この流れはまずい……

今までたくさん  
気持ちよくしてもらったからさ……  
今度は俺が美咲を  
気持ちよくしてあげるよ



あたしは  
ソウちゃんの彼女なんだ！

やめないと……  
お、お……怒るよ！



美咲……

数十分後

結局――

力でダイちゃんにかなうはずもなく  
拘束された私は延々とねちっこい愛撫を受け続けた

そうそう…  
力抜いて  
おまんこ集中して…

はじめのうちは抵抗していたが  
アソコを深く、ゆっくりと刺激されて力が抜け  
なすすべもなくただ感じることにできなかった



まるで私の感じる場所と間隔を  
知り尽くしているかのように  
正確に押し上げてきて――

プ  
チャッ

はぁっ...あっ

——もう何度もイカされていた

美咲おとなしくなったね…  
イクのよっぽど  
気持ちいいんだね？

いってなんか……  
ない……もん

男と違って女の子は  
イケばイクほどエッチ  
したくなるらしいね…

これ  
もう欲しくて  
たまらないでしょ？

だ、だめ…  
それだけは本当に  
お願いだから…

もう上の口には十分  
味がすりこまれてる  
だろうからさ…

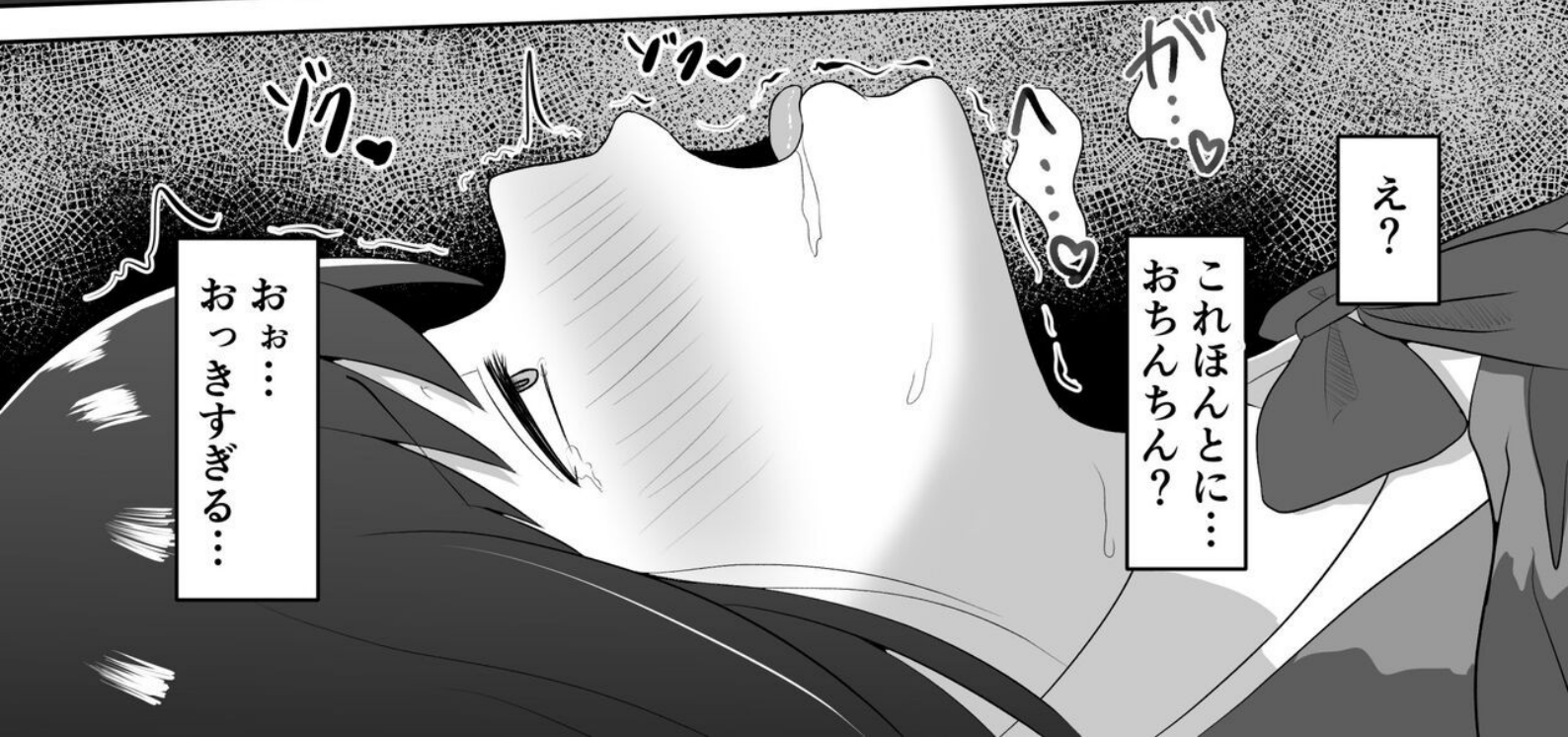
だ、だめ…  
 それだけは本当に  
 お願いだから…

これ  
 もう欲しくて  
 たまらないでしょ？

もう上の口には十分  
 味がすりこまれてる  
 だろうからさ…

ふいに♡

ぬる



しっかりほぐしたから  
一気に奥まで入ったね

寝取られおまんこのくせに  
しっかりまとわりついてきて  
サイコーだ！

たまんねーよ美咲！

ソウちゃん以外の人に  
犯されるなんて…  
い、嫌なはずなのに…

ぬ  
ちゅ♡

ぬ  
ちゅ♡

おっきいおちんちんに  
お腹の中心強く突かれて…

気持ち…いい…？

へ？



なにそこ!!  
知らない!

衝撃の逃げ場も  
なくなるから  
もっと気持ちいいよ

こうして頭を  
固定すると  
もっと深く突けて

ストキュッ♡  
ストキュッ♡



だめ...  
こんなの  
されたら...

すぐイっちゃうでしょ?  
はい美咲ちゃんイキます  
3、2、1...

ぐいゅっ♡  
ぐいゅっ♡

ぐいゅっ♡



はいイったあw

あがああ

ぐわっ♡  
ぐわっ♡

ぎゅっ♡



はは、本当にすぐイったね...  
美咲の身体は素直でかわいいなあ

いって...いってな...  
い...から...

悔しい...悔しいけど...  
とけちゃうくらい気持ちいい...

おちんちんってこんな  
気持ちよかったっけ...



ん？

電話だよ？  
きつと颯太だ...  
出なよ

なんで...  
ソウちゃんって...



今日あいつ誕生日だろ？  
...さっき言ってた「用事」って  
デートでしょ？

いいから出なよ

っ...

もしもし...

あ、美咲？  
もう駅前  
着いてるけど  
いまだこ？

ごめんね遅れて...

もうすぐいくかー

ら!?

「今日はいけない」って  
言うんだよ

ばちゅん



美咲？  
なんか息あらいけど  
大丈夫？

ごめんね…  
ちよっと体調悪くて…  
行けそうにないの

マジで!?  
じゃあ今からお見舞い行くよ  
家だよな？

ううん、大丈夫…  
多分寝れば治るから

あーやべ、出る…  
このまま出すわ

え？  
ちよ、絶対だめだから

え？

う、ううん！  
なんでもな！

ああ！

はちゅっ♡  
ばちゅっ♡

びゅんん  
ひゅるるん

あっ♡

ド  
ピ  
ン

出てる…

熱い精子が噴水みたいに  
ビュクビュク子宮に  
叩きつけられてる…



スマンな颯太…  
お先に仕込ませて  
もらったわ

美咲？  
大丈夫？  
美咲

ははっ

彼氏の声聞きながら  
他の男の精子  
流し込まれるの  
そんなに  
気持ちよかった？

ひどいよ…  
中で出すなんて…

美咲もナカでイってたから  
おあいこじゃん？

じゃあ「用事」もなくなった  
ことだし、続きしよっか？

今日、親父たち朝まで  
帰ってこないからさ…

がっ♡

がっ♡

びく♡

びく♡

ど♡

3♡

お願い…

ソウちゃん…  
あたし種付けされちゃった…  
ごめんね…ソウちゃん…

もう…許して…





そこに押し付けるのが  
お気に入りなんだねーw  
いいよ、好きなだけイキな

気づけば自分で腰を振っていた…  
あまりの快感に、ソウちゃんへの  
罪悪感を忘れてしまいたいそうになる

いいいいってな…い  
から

あー♡  
あー♡  
あー♡

ぽちゃっ♡

ぽちゃっ♡

ぽちゃっ♡

ぽちゃっ♡



いつてるくせに嘘ばっかつく  
悪い喉マンコはおしおきだ!

気持ちよくしてもらってる  
チンポにごめんなさいしろ!

喉奥を突かれる感覚すら快感に思えた…  
意識が朦朧として身体はとけて  
もう「気持ちいい」意外の感情は  
感じられなくなった

グポッ♡

グポッ♡

んお♡

グポッ♡

グポッ♡



ひたすら子宮を突かれて  
精液を流し込まれる…  
その本能的な快感だけに  
私の世界は支配されていた…

ほらこれならどうだ!  
認めるまでやめないぞ!

いいいいイッてるう!  
ずっとイッてるから!  
ごしごしもうだめ  
ごめんなさいいいい!

トチャッ♡

トチャッ♡

トチャッ♡

ドチャッ♡

びゅん♡  
びゅん♡



ああ、気持ち  
よかったあ…



相性抜群だわ俺たちの身体…

どう？  
俺のものになる気になった？

ズッ…♡



…あたしは…ソウちゃんの…  
彼女…だから

健気だねえ…  
あんだけイキ狂っというて  
言う言葉でもないと思うけど…

まあいいさ  
これだけ俺の味を  
刷り込んだんだ…



寝返るのも時間の問題だろ

まだジンジンしているアソコの余韻と  
心地よい疲労感の中  
私は深い眠りへと堕ちていった…

きもち…  
よかったな…

**END**

この度はお買い上げ並びに  
最後までお読みいただき  
ありがとうございました。

「看病」は男の子の夢.....  
ですね！

他作品サンプルも同梱して  
いますので、ぜひご覧ください。

今後もNTRを中心として活動していきます。

以下SNSでも活動していますので、  
ぜひともフォローお願いします！  
(進捗報告や二次創作等っております)

ありがとうございました。

twitter: @sora\_paprika  
pixiv: 16885829

2022.3.19  
ソーラ-(ぱぷりか).

